

サーバストレージ

1. 概要

サーバストレージは各個人の V-Campus のホームディレクトリ・Web サーバのコンテンツ領域等のファイルデータの保存先から、V-Campus で使用している様々な仮想サーバ（SPIRIT、授業支援システム等）の OS データ、システムデータの保存先、及び仮想サーバが動作するハイパーバイザーを有するシステムである。

2. 利用状況

(1). 2020 年度末のストレージの利用状況

- ① NAS 領域の使用量 : 約 27 TB
- ② 仮想サーバ領域の使用量 : 約 39 TB
- ③ QNAP 上のデータ使用量 : 約 47 TB

(2). 2020 年度末のサーバ利用状況

- ① 仮想サーバ数 : 356 台（内稼働 270 台）

3. 2020 年度のまとめ

2020 年度は V-Campus 7 th 更改でリプレースが実施され、Dell EMC から PureStorage に変更となった。ストレージの最大容量については 25TB と大幅に減っているが PureStorage が持つデータの重複排除処理によりデータの使用量が削減されている仕組みとなっているためである。またディスク I/O が求められない仮想サーバやデータ領域用として QNAP を使用した 72TB のストレージ環境も用意した。

仮想サーバの台数については各サーバのリプレースや新システム導入により大幅に増加した。ただし V-Campus 6 th など旧環境用のサーバなどサービスが停止したものについては停止措置を行ったため稼働台数としてはほぼ増減はない。

NAS 使用量についてもオンライン授業導入の影響もあり立教時間や Blackboard の利用が増加したため、2019 年度に比べ使用されるデータ量が大幅に増大している。Blackboard のデータ領域については 2TB ほど増強されているが、今後も容量の増加が見込まれている。

データの使用量が増大してはいるが、ストレージ上のディスク使用料については PureStorage の重複排除処理が有効に働いているため、10TB ほど削減されている。